



ごあいさつ

中央公民館長 木脇 保

謹んで町内のみなさんにごあいさつを申し上げます。

昭和二九年新生油谷町が発足以来、町発展の基盤として諸種の施設設備が充実整備されてまいりましたが、このたび住民のつどいの場として、展望の油谷町中央公民館が新築の運びにいたりました。

涯教育の態勢の確立であり、究極のねらいは、住民の自治能力の向上であることを思いますとき、公民館活動は油谷町発展の基盤として、きわめて重要な教育活動であるかと存じます。

私は公民館の運営に当っては町役場各課との連絡を密にし、又町内関係諸団体、各種グループ等のご意見を要望し、魅力ある公民館として、町政発展の基盤づくりに寄与したいと考えております。

急激に増えた国保の医療費と

保険料の値上げについて

昨年一月からの老人医療費の無料化と、さらに二月一日からの医療費の値上げにより、国民健康保険の医療費は、二〇%程度の増加と予想していましたが、本年の二月診療分までの実績を前年に比べてみますと、四二%、金額にして五、六八〇万円の増加であります。

この増加分のはほとんどは、老人医療費で、特に無料化が実施されたことにより、二、七〇〇万円増え、なかでも入院が二倍になっております。老人の医療費で、国民健康保険の場合、町の国保会計から七割、三割は福祉サイドから医療機関へ支払います。七割の国保会計から支払う費用の中、四・五割は国が負担し、残りの二・五割は

保険料でまかなわれ、医療費が増えれば保険料負担も増え、ひいては保険料の値上げにつながってくるわけです。

四七年度の増加については、四六年度の繰越金九六〇万円でまかなえようですが、四八年度は医療費の自然増を五%とし、総額二億一、三九八万五〇〇〇円で保険料を一、〇四〇万円値上げして、保険料者一人当りの保険料は、四七年度の五、五四九円から、四八年度は七、一〇三円と一、五五四円の値上げをしなければ医療費をまかなうことができない実状であります。

このように、医療費が増えれば保険料の値上げにつながります。

福祉年金の所得状況届をお忘れなく

国民年金の老令福祉年金、障害福祉年金、母子(準母子)福祉年金の受給者は、昭和四七年分の所得状況届を町を経て県知事に提出することになっております。

この所得状況届は受給者の所得だけではなく、配偶者や扶養義務者の所得もあわせて提出し、その状況にもとづいて、昭和四八年五月分から昭和四九年四月分までの福祉年金の支払額を決定します。

したがって、この所得状況届は福祉年金を受けるうえで大切な届出ですから、五月の支給を受けたら直ちに国民年金証書と印鑑を持って、町役場住民課又は支所にお届け下さい。

商工会館でできる

駅通り森林組合事務所横に建築中の油谷町商工会(小島義助会長)の会館が出来上り、近く移転を終えて新しい事務所業務を始めます。

納税案内

固定資産税 第一期 五月底 昭和四八年度第一期固定資産税についてのみ、その納期を五月一日から五月三十一日までに変更いたします。

油谷町連合婦人会 役員名簿

ことしの婦人会の役員さんが次のとおり決まりました。

- 会長 藤岡カヨ
副会長 中谷房子
書記 金子篤子
監査 福田察狭代
理事 浅山民子
理事 菱海地区◎金子篤子
理事 ◎吉野キミエ
理事 ◎岡林ユキ子
理事 ◎藤井君子
石原地区◎福田察狭代
宇津賀地区◎藤岡カヨ
◎松岡静江
◎橋ツル子
向津真地区◎中谷房子
◎長岡昭子
◎末広アヤ子
◎は地区会長
◎は副会長
支部長 谷川静香
亀田 前田美代子
植松 青木スミ子
荒久 山県君子
長地 河野恵美子
有宗 藤田チズエ
稲石 中村厚子
廣丸 波多野房枝
人丸 三宅〇子
新別 山中マツエ
駅通 安田敦子
大迫 松本八千代
大坊 水鳥克子
東崎 磯部綾子
芝坊 古田京子
大上 荒田和子
二瀬 松永君枝
坂ノ根 松田アサ子

交通安全標語特選作品より

道路では遊ぶなきわぐなふざけるな

井上小 中村美夫